広報　　ぼし

キラキラ★たまみず

平成27年4月20日　発行　［玉水まちづくり協議会］
第35号

発行責任者：会長　前　岡　弘　國
連絡先：☎・Fax（079）506-3163

3月7日（土）

実り多い「視察研修旅行」でした

地域振興部会により計画された研修の一つ、「先進地視察研修」として、淡路・洲本市大野地区と五色ウェルネスパークにある菜種油工場を見学しました。

大野地区は、「菜の花祭り」や菜種油の製造・販売、廃食用油の回収、バイオ燃料の再生とその燃料を使った車による移送サービスなど、菜の花栽培をまちづくりの中心に据えた様々な活動に取り組まれていました。［とても熱心な説明に感銘を受けました。］

左のポスターは新聞でも目にされて、すでに淡路島を訪れた方がおられるかも知れません。今年は、大野地区だけでなく、淡路島全体で取り組まれるとのこと。実施に向けた住民の方々の並々ならぬ思いと、迫る高齢化や過疎に対する危機意識の強さを感じずにはいられませんでした。

大野公民館でこれまでのまちづくりの経緯を聞いた後、「菜の花祭り」の行われる畑を見に行きました。３月初めということで、菜の花はチラホラとしか咲いていませんでしたが、米の栽培には不向きな（と思われる）畑に菜の花が植え付けてあり、「うーん、篠山では考えられないかも。」という声が見学者の中からしきりに上がっていました。

［咲き始めた菜の花畑を見学しました。］

そして、菜種油の製造工場まで足を伸ばしました。思ったよりもこじんまりとした建屋の中に、油を搾（しぼ）る機械が備わっていました。話の中に、利益追求を目指すより、せっかく栽培した菜種油を地域住民のために有効利用して、少しでも自然循環型の生き方に結びつけられたらという熱い思いが、強く印象に残りました。

2月22日（日） ◆しいたけ栽培の「菌打ち」行われる

［分担して、しいたけ菌を植え付けています。］

昨年の１１月に切り出されたホダ木に、しいたけ菌を植え付ける作業を行いました。ドリルやハンマーを手に、それぞれの役割を分担して作業を進めました。

天候が危ぶまれた日ではありましたが、９０本近いホダ木に次々と穴を空け、菌を打ち込みました。作業をしながら、「２年後にはたくさんの椎茸が採れるのやね。」とか、「たくさん採れたら、しいたけ収穫祭をやりませんか。」などと、楽しい会話がはずみました。今から、収穫が待ち遠しいです。

2月26日（木） ◆大山の郷土料理・篠山特産の山の芋を使った料理教室 行われる

［男性の方も積極的に調理に参加されました。］

午前９時３０分より、玉水会館の調理室で「料理教室」が開催されました。玉水会館の一部改修に合わせて、調理室が一新したこともあり、早く「料理教室の開催を」という声が上がっていました。

その念願の料理教室が、男性６名を含む17名の参加を得て開催されました。お楽しみのメニューは、大山の郷土料理「とふめし」と篠山特産の山の芋を使った「とろろのおとし汁」、そして、旬の野菜たっぷりの「野菜入りふわふわ鶏だんご」の３品でした。

参加者の中には、「ごぼうのささがき」を初めて体験された男性の方もあり、慣れない手つきで一生懸命調理されていました。試食タイムでは、思った以上の出来映えに舌鼓を打ちました。その出来映えと味付けをほめ合うほほえましい光景もあり、次回への意欲を燃やすとっても楽しく、美味しいひとときとなりました。

おいしそうな料理が並んでいます。

［「おいしいね。」という声が聞こえてきそうです。］

今後は、城北地区の多くの方々の参加を願い、男性や子どものための「料理教室」を企画していきたいと考えています。

どうぞご期待下さい。

3月15日（日）　◆集落探訪ウォーキング行われる

［小林寺を見学しています。］

ウォーキング＆サイクリングマップが完成したのを契機に、「集落探訪」と銘打ってスポーツ21の呼びかけで実施しました。

３月に入り不安定な天候が続く中、当日は体を動かすのに絶好の好天に恵まれ、気持ちよく参加することができました。

探訪コースは、

玉水会館 → 沢田八幡神社 → 三蔵法師聖骨塔 → 玉水 → 新宮古墳・神社 → 丹波与作の誕生の地 → 石くど→ 大賣神社 → 村上公廟所 → 玉水会館

で、篠山観光協会の谷口様と細見様にガイドをお世話になりました。

これまで何回か訪れていましたので由緒のある所を知っているつもりでいましたが、間違って覚えていたり、所在地を混同したりしていて、「えっ!そうだったの!!」と驚く場面がありました。車社会になってから、歴史や由緒があることを知らずに通り過ごしていたなと改めて思いました。

今日のように、実際に歩いて説明を聞き、このような研鑽ができたことは大きな収穫でした。

［ガイドさんの話に耳を傾け、「ふる里再発見」ができました。］

また、その場その場の管理や運営にも、多くの方々のお力があればこそと感謝するとともに、「ふる里再発見」のよい機会となりました。

また、このようなふる里探訪ができる機会があればと楽しみにしています。

今後の活動予定

◎クリンソウを見に行きませんか

◆日 時：５月17日（日）　▶場 所：丸山地区から入った山中

５月の連休を過ぎますと、クリンソウが美しく咲く時期を迎えます。玉水まちづくり協議会では、昨年度、クリンソウを見に行くハイキングを実施しましたところ、「来年度もぜひ計画してほしい。」との声をいただきました。

そこで、今年度も計画します。くわしくは次号の「広報キラキラ☆たまみず」でお知らせしますので、お楽しみに。

考える会への参加募集

玉水まちづくり協議会では、毎月１日に「考える会」と称して、まち協に対する提言を受ける会議を設定しています。これまで、城北地区の地図を作成してはどうかとか、しいたけ栽培に取り組んでみたいなどと、「考える会」で出された意見を役員会に反映して、実際の活動に取り上げることができました。

城北地区にお住まいの方ならどなたでも参加できますので、「考える会」にぜひともご参加いただき、忌憚（きたん）のないご意見をお聞かせ下さい。

次回の開催予定は、　５月１日（金）午後７：３０です。

4月5日（日） 北沢田自治会において

第2回「水仙まつり」行われる

北沢田地区のみのり会館で、昼食をはさんで健康についてのお話を聞いたり、日本舞踊を観賞したりして、春のひとときをゆったり過ごされました。

この「水仙まつり」に先がけ、昨年の秋には北沢田地区の主な街道沿いにたくさんのスイセンが植えられました。そのスイセンが、３月下旬から４月上旬にわたって見事に咲き、見る人の心に元気と安らぎが届きました。

［稲川 なをみさんによる健康のお話を聞きました。］

「水仙まつり」では、保健師の稲川 なをみさんによる熱中症予防のお話と、堀家浩美さんによる日本舞踊が披露され、おいしいお弁当に舌鼓を打ちながら住民同士のお話に花が咲いていました。

［堀家 浩美さんの優雅な日本舞踊にうっとり見とれました。］

スイセンの栽培や水仙まつりを通して、住民同士が集い交流し合えたことでより絆が深まったこと。食事の準備や片付けなどの裏方の仕事に携わりながら、ふだん出会うことの少ない方ともお話ができて良かったという感想を聞かせていただきました。

お知らせ

玉水まちづくり協議会総会の開催

♠ 日 時　５月９日（土）午後７時３０分
♦ 場 所　玉水会館

［昨年度の総会の様子です。］

平成２６年度の玉水まちづくり協議会の活動報告並びに決算報告と、平成２７年度の活動計画並びに予算についての審議のための「総会」が、上記の日時、場所で行われます。

ふだん、まちづくり協議会の活動に参加していただいている方でも、「まち協って何をしているのかよく分からない。」と言われる方が多くあります。総会に参加していただけたら、即ご理解いただけるという訳ではありませんが、まち協の活動を知ってもらえる良い機会ですので、ぜひともご参加下さい。

なお、この**「総会」は城北地区にお住まいの方なら誰でも参加できます**ので、多くの方々のご参加をお待ちしています。